

事業を通じたサステナビリティへの貢献

島津グループのサステナビリティ経営

私たちは、創業以来、社会課題の解決に対して事業活動を通じて貢献すると共に、社会の一員としての責任を念頭に置いた企業活動を実践してきました。

今後もサステナビリティ経営を実践していくにあたり、社是・経営理念のもと制定した島津グループサステナビリティ憲章において、1) 地球環境とグローバル社会の持続可能性、2) 島津グループの事業活動の持続と成長、3) 従業員の健康とエンゲージメントの向上、の3つの「サステナビリティ」に取り組んでいくことを定めています。

地球環境・社会

①地球環境とグローバル社会の持続可能性

- 地球環境の保全
- 世界の人々の健康長寿の実現
- 産業の発展、安心・安全な社会の実現



島津グループ

②島津グループの事業活動の持続と成長

- 事業を通じた社会価値提供の体制強化
- 事業のサステナビリティを阻害する要因への対応と予防
- サプライヤと一体となったバリューチェーンの強化



人（従業員）

③従業員の健康とエンゲージメントの向上

- 健康経営、ダイバーシティ経営、従業員満足度の向上
- グローバル人材育成
- 企業理念やサステナビリティ経営の啓発と社内浸透



島津グループサステナビリティ憲章

地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します。

島津グループは、1) 地球環境とグローバル社会の持続可能性、2) 島津グループの事業活動の持続と成長、3) 従業員の健康とエンゲージメントの向上を目指して、サステナビリティ経営を実践していきます。

<https://www.shimadzu.co.jp/sustainability/concept/index.html>



環境経営

私たちは、環境問題の解決を通じた事業活動と企業価値の拡大を目指し、以下の5つの方向性で取り組みを進めています。

バリューチェーンを含めた事業活動におけるCO₂排出抑制や資源循環への取り組み、環境・新エネルギー分野における新たなイノベーション創生に資する製品・ソリューションの提供を行います。生物多様性保全や森づくり活動などの取り組みを図り、幅広く社会に貢献します。

島津グループの環境経営 5つの取り組み

①気候変動対応への取り組み

太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入や、スマートメーターを設置した消費電力の見える化による省エネ施策を強化するとともに、サプライチェーン全体での環境負荷低減に努めます。



再生可能エネルギー使用

消費電力の見える化

②循環型社会の形成に向けた取り組み

3R(リデュース、リユース、リサイクル)を着実に推進し、国内生産拠点・研究所などにおける廃棄物のリサイクル率99%を維持します。また、サプライヤーとの連携によるIoT技術を活用した効率的な廃プラスチック回収や、排水などの環境監視体制を強化します。



廃棄物管理

排水管理

③地球環境の保全に配慮した製品・サービスの開発・提供

環境・新エネルギー分野において、カーボンニュートラルに向けた開発課題を解決する製品や技術を提供します。すべての製品について常に省エネや小型化などを図り、製品ライフサイクルを通じた環境負荷の低減を推進します。



ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-QP2050

血管撮影システム Trinius

④生物多様性の保全に向けた活動

生物多様性保全のための森づくり活動や学校での環境教育授業の実施など、地域や教育機関・団体と連携し、幅広い活動を展開します。



「島津の森」のフタバアオイ

学校での環境教育活動

⑤社員ひとり一人による積極的な環境保全活動

社員全員が「環境貢献企業 島津」の一員として、さまざまな環境活動に積極的に取り組みます。



ボランティア社員参加の森活動

地域の清掃活動への参加

カーボンニュートラルの実現を目指して

TCFD*提言に賛同し気候変動関連情報の開示や、パリ協定の温度目標と整合性があるCO₂排出量削減目標(SBT)を設定しました。また、使用する電力を再生可能エネルギー由来100%とするRE100宣言を行い、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいます。

*企業などに気候変動関連の情報開示を求める国際的な枠組み



ハビタット評価認証 (JHEP) を取得

ハビタット評価認証とは、日本生態系協会が生物多様性の保全や回復に資する取り組みを客観的に評価し認証するものです。本社三条工場の「島津の森」は京都府で初の最高ランク「AAA」評価を取得しています。



本社三条工場内「島津の森」

多様な人材の活躍推進

産学連携でグローバルな高度専門人材の育成を目指す

当社と大阪大学は、2021年から当社の技術者・研究者の博士号取得を支援する「REACHラボプロジェクト」を進めています。大阪大学・島津分析イノベーション協働研究所に設けた「REACHラボ」に社内公募した社員を派遣し、卓越した研究者の下で、博士後期課程学生として共同研究に取り組んでいます。2023年からは人材の確保と社会実装を推進するリーダーを育成するため「REACHプロジェクト」に発展させました。大阪大学大学院の学生を修士課程修了時に当社で採用し、博士後期課程に社員として派遣し共同研究を行います。研究対象の範囲も従来の理系から文理融合分野・人文社会科学系にも広がっています。



健康経営・ダイバーシティ経営

社員一人ひとりが心身ともに健康であるために

当社では、専任の保健師とカウンセラーによる面談やメンタル面のフォローを通じて社員の健康管理をサポートしています。技術や製品を社員に還元する取り組みとして、乳房専用PET装置による乳がん検診の受診費用や軽度認知症(MCI)の発症リスクを判定する「MCIスクリーニング検査プラス」の検査費用を補助しています。また、禁煙タイムを随時拡大するほか、社員が主体的に健康的な習慣を身に付けるために、健康情報やお薬履歴の閲覧などが可能な健康ウェブサービス「kencom」も導入しています。

健康経営優良法人に選定

経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人～ホワイト500～」に2017年より8年連続で認定されています。また、経済産業省が、多様な人材能力を生かし、中長期的に企業価値向上を実現している企業を表彰する「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選出されました。

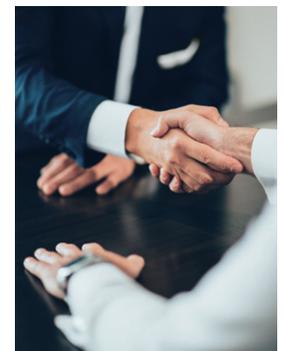


サプライチェーンマネジメント

取引先との共生とパートナーシップの構築

当社グループでは、製品の製造において、多くの取引先からグローバルな調達を行っています。調達は事業活動の基盤を支えるものと位置づけ、「共生とEQCD(環境・品質・価格・納期)」を取引の基本とし、公正な取引、取引先とのパートナーシップの構築、CSR調達の推進を行っています。特にCSR調達に関しては、調達ガイドラインを制定・公開し、「人権・労働」、「安全・衛生」、「環境」、「倫理」、「BCP(事業継続計画)」の5つの分野について、当社と取引先が共に社会的責任を果たすために取り組むべき事項を定めています。

また、サプライチェーンのすべてにおいて人権の尊重、環境負荷低減に努めています。このうち、紛争鉱物対応では、国際的な枠組みに則った社内体制を構築しています。そして、欧州をはじめとする各国の製品含有化学物質規制に対しては、調達基準を策定し、「非含有保証書の取得」・「取引先の監査」・「各種資材のサンプル分析」の体制で、環境負荷の少ない原材料を購入するグリーン調達に積極的に取り組んでいます。



ガバナンス改革

コーポレートガバナンスの強化

当社は島津グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、コーポレートガバナンス・コードを具体的に実践していくため「コーポレートガバナンス・ポリシー」を2015年に制定しました。

さらに、取締役会の任意の諮問機関として、指名・報酬委員会を2018年に設置しています。

当委員会は、取締役等の報酬額の決定や、取締役会決議に先立つ役員候補者の指名・選任に関する審議・答申を行っていますが、委員の過半数を独立社外取締役とし、原則として議長を独立社外取締役とすることで、指名・報酬に関する客観性・透明性を高めています。

また、「コンプライアンスは全てに優先する」を基本として、グループ全体でガバナンスの強化、組織と風土の改革を推進し、一人ひとりのコンプライアンス意識とリスクへの感度を高めることによりコーポレートガバナンスの強化を図っています。

コーポレートガバナンス体制

組織形態	監査役会設置会社
取締役の人数 (社外取締役)	8名 ※女性2名含む (4名 ※うち独立役員は4名)
監査役の数 (社外監査役)	4名 (2名 ※うち独立役員は2名)
取締役会の議長	会長(社内取締役)
取締役の任期	1年
指名・報酬委員会	人数6名(社外取締役4名) ※議長は社外取締役が担当
執行役員制度の採用	有 ※取締役会で選任
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

CSR

日本の優れた研究者への島津賞・研究開発助成

島津科学技術振興財団

科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究において、功労者を表彰する「島津賞」や若手研究者への「研究開発助成」など、島津科学技術振興財団はさまざまな支援活動を通じて日本における科学技術の振興に貢献しています。



医療従事者の育成

学校法人島津学園 京都医療科学大学

X線装置のパイオニアである当社が、日本初のレントゲン技師(現診療放射線技師)の正式養成機関「島津レントゲン技術講習所」を1927年に創設し、その後2007年に京都医療科学大学として開学。創立以来4,000名を超える卒業生が全国の医療機関で活躍しています。



テニスを通じた社会貢献活動

当社では、テニスを通じた社会貢献活動に力を入れています。日本テニス協会主催の3大トーナメントのひとつ「島津全日本室内テニス選手権大会」への特別協賛やジュニアテニス教室の開催など、日本のテニス界の発展、地域の振興をサポートしています。



科学への興味を広げる島津ぶんせき体験スクール

小・中・高校生に「理科や科学に興味を持ってもらう“きっかけ”を提供したい」という思いから、当社製品の関連技術をテーマにした科学スクールを2007年から継続して開催しています。これまでに9,000名を超える子供たちが、分析計測装置を使った実験やモノ作り体験に参加しました。アメリカ、イギリス、ドイツ、中国、シンガポール、マレーシアなど当社の海外拠点でも開催し、科学技術で社会に貢献する人材を育成しています。

